

今回は前置詞 **в** と **у** を取り上げる。

前置詞 **в** は直訳すると「～の中に」という意味であるが、用法は英語の **in** に近い。そしてこの用法にルールがあり、ときに **у** で書かれることがある。そのルールを以下に示す。

- **в** になる例
 1. 直後の語頭が母音
 2. 直前の語尾が母音
 3. 母音同士に挟まれる
 4. その他 **у** になる例に該当しないもの
- **у** になる例
 1. 文頭(直後の語頭が母音でない場合)
 2. 直後の語頭が **в, ф** または語頭が子音字かつ **в** が語頭の近くにある
 3. 子音同士に挟まれる

なお第7回で扱った構文 **У мене є** の **У** もこれに該当する。

(例)

- **Я в Японії.** (私は日本にいる。)
- **Він любить їсти піцу в Кобі.** (彼は神戸でピザを食べるのが好きだ。)
- **Вона п'є чай з молоком у Віктора вдома.** (彼女はヴィクトルの家でミルクティーを飲む。)

□練習問題

ウクライナ語を和訳せよ

- (1) Ви живете в Осаці?
- (2) Зараз Кен у Кобі.
- (3) В Осаці це коштує двісті ієн, але в Токіо це сто п'ятдесят ієн.

□スキット問題

ある日、ヴィクトルがメイたちの写真を見ていた。写真にはマサミも写っていた。そしてもう一人、ヴィクトルが知らない人を見つけてメイに尋ねているところ。

Віктор: Хто він?

Мей: Він мій однокурсник ① університеті.

Віктор: Він не твій друг?

Мей: Ще ні.

Віктор: Але ти будеш?

Мей: Я думаю так.

Віктор: Масамі знає це?

Мей: Так, а він живе ② Ічікаві, сказала Масамі.

Віктор: ② Ічікаві? Мені теж! А як його звать?

Мей: Вибачте, я не знаю.

Масамі: Мейとヴィクトルさんじゃない? 何してるの?

Віктор: Як його звать?③

Мей: マサミ、ヴィクトルが彼と友達になりたいらしいの。紹介してあげて。

Масамі: メイは知らないの?

Мей: ごめん、名前は知らない。

Масамі: じゃあしょうがないか。彼は高橋智樹。今は市川にいるけど昔は品川区にいたの。

Мей: ならマサミとは幼馴染なんだね。

Масамі: Yes、じゃなくて Так、って言えばいいんだっけ...?

Мей: 教室じゃないからいいよ。マサミは始めたばかりだから私が紹介するね。

Мей: Вікторе, він Томокі Такахаші. він її друг дитинства. але він іде до Ічікаві.

Віктор: Скільки років він живе ② Ічікаві?

Мей: マサミ、高橋くんは何歳のとき引っ越した?

Масамі: 私が 10 歳のときかな。

Мей: Добре! Він живе ② Ічікаві ... ④ років.

Віктор: Ох, це те саме, що коли я приїхав до Японії.

(4) ①、②は **в** か **у** のどちらかが入る。さてどちらか。

(5) ③を和訳せよ。

(6) マサミが 10 歳のときに高橋が引っ越した。④はいくつか。

動画版では第7回の復習も取り上げている。構文 У мене є はいろいろな場面で使えるのでぜひともマスターして頂きたい。前置詞を扱うコーナーは今週だけではないので随時構文 У мене є の復習を取り上げる。

☆新登場人物

高橋くん

フルネーム: 高橋智樹(Томоки Такаhashi)

誕生日: 1998-12-27

生誕地: 石川県

在住: 市川市

移住歴: 生誕～1歳半は石川県穴水町、1歳半～10歳は東京都品川区、それ以降は市川市

備考: 千葉県内の大学へ通う双子の弟がいる